

ジャズチャンツによる  
英語リズム習得に関する研究

—日本人と中国人の成人英語学習者の比較を中心に—

文学研究科

言語文化学専攻

言語応用学専修

平成28年度

おお  
大

まえ  
前

か  
佳

なえ  
苗

## 〈目 次〉

### 第 1 章 序 論

#### 第 1 節 研究背景

- 1.1 はじめに . . . . . 1
- 1.2 ヒトとリズム . . . . . 3
- 1.3 言語リズムの重要性 . . . . . 4
- 1.4 様々な言語リズム . . . . . 6
- 1.5 英語リズムの様々な指標 . . . . . 9
- 1.6 チャンツについて . . . . . 11

#### 第 2 節 先行研究

- 2.1 英語リズム習得に関する先行研究 . . . . . 14
- 2.2 その他の先行研究 . . . . . 17

#### 第 3 節 ジャズチャンツに関する一考察 . . . . . 19

### 第 2 章 本 論

#### 第 1 節 実験の目的 . . . . . 23

#### 第 2 節 実験の概要

- 2.1 参加者・実験期間等 . . . . . 24
- 2.2 リズム学習教材 . . . . . 25
- 2.3 実験の流れ . . . . . 26
- 2.4 リズム習得の判定
  - 2.4.1 英語リズムの指標 . . . . . 27
  - 2.4.2 VERSANTによる英語習熟度の判定 . . . . . 27

2.4.3	事前・事後発話テスト	29
2.5	音声資料の分析	31
第3節	日本人・中国人の比較を中心とした英語リズムの 習得に関する実験	33
3.1	ISI 持続時間を指標とした Test 1 の分析結果と 考察	33
3.1.1	参加者全員の学習前後の比較	33
3.1.2	上位群・下位群の学習前後の比較	35
3.1.3	日本人群・中国人群の学習前後の比較	41
3.1.4	ISI 持続時間を指標とした Test 1 の考察	47
3.2	ISI/T( 相対的発話速度 ) を指標とした Test 1 の 分析結果と考察	48
3.2.1	参加者全員の学習前後の比較	48
3.2.2	上位群・下位群の学習前後の比較	50
3.2.3	日本人群・中国人群の学習前後の比較	52
3.2.4	ISI/T( 相対的発話速度 ) を指標とした Test 1 の考察	55
3.3	PVI ( Pairwise Variability Index ) を指標とした Test 3 の 分析結果と考察	59
3.3.1	Test 3 の分析結果	59
3.3.2	Test 3 についての考察	61

3.4	VERSANT スコアの分析結果と考察	6 2
3.4.1	VERSANT スコアの分析結果	6 3
3.4.2	VERSANT についての考察	6 8
第4節	ジャズチャンツに関する考察	6 9
4.1	英語リズムの学習に関する実験の結果と考察	
4.1.1	Test 2 の分析結果	7 0
4.1.2	Test 2 についての考察	7 5
4.2	5 日間の学習過程の分析	
4.2.1	分析の観点と方法	7 5
4.2.2	5 日間の学習過程の分析と考察	7 9
第5節	アンケート調査の分析	
5.1	事前アンケートの分析結果	8 3
5.2	事後アンケートの分析結果	8 5
5.3	事前・事後アンケートの考察	8 7
第6節	全体を通しての考察	8 8
第3章	結 論	9 7
	要 約	1 0 0
	参考文献	1 0 4
	資料	1 1 1